

イネリーグ®剤の散布適期一覧 (移植水稻)

雑草名	剤型		
	1キロ粒剤	フロアブル	ジャンボ®
ノビエ	3葉期まで	3葉期まで	3葉期まで
コナギ	3葉期まで	3葉期まで	3葉期まで
ホタルイ	3葉期まで	3葉期まで	3葉期まで
ヘラオモダカ	3葉期まで	3葉期まで	3葉期まで
ミズガヤツリ	草丈15cm以下 または2葉期まで	草丈15cm以下 または4葉期まで	草丈15cm以下 または4葉期まで
ウリカワ	2葉期まで	3葉期まで	2葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで	発生期まで	発生期まで
セリ	再生前から 再生始	再生前から 再生始	再生前から 再生始
オモダカ	発生始まで	発生始まで	発生始まで
クログワイ	発生始まで	発生始まで	発生始まで
シズイ	草丈3cmまで	草丈3cmまで	草丈3cmまで

*技術指標原案より作成 (2022年6月現在)



バイエル クロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262
<https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078
9:00~12:00,13:00~17:00 土日祝日および会社休日を除く



●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。



イネリーグ®

技術資料

イネを守る実績の3成分、
イネリーグ®の除草が頼もしい!

新登場



1キロ粒剤とフロアブルは
無人航空機での処理ができます!



はじめに

イネリーグ®剤はバイエル クロップサイエンス(株)、全国農業協同組合連合会、北興化学工業(株)が共同開発したテフリルトリオンとバイエル クロップサイエンス(株)が開発したフェントラザミドおよびクロメプロップを含む3種混合の初・中期一発剤です。

テフリルトリオンは一年生広葉雑草、ホタルイ、多年生広葉雑草や難防除雑草のクサネム、イボクサに高い効果を示します。フェントラザミドは、ノビエのほか、コナギ、アゼナ等の一年生広葉雑草に対して高い効果を示します。クロメプロップは、一年生広葉雑草およびホタルイに高い除草効果を示すホルモン型除草剤です。

本剤は、これら3成分を混合した散布適期幅が広く、殺草スペクトラムの広い初・中期一発剤です。

本資料は、イネリーグ®剤をご理解いただくため、特長を簡単にまとめたものです。

ご使用の一助になれば幸いです。

目次

はじめに	01
イネリーグ®剤の特長	02
有効成分の物理化学性と安全性	02
イネリーグ®剤の殺草スペクトラム	03
有効成分の特性	
フェントラザミド	04-05
テフリルトリオン	06-07
クロメプロップ	07-08
イネリーグ® 1キロ粒剤の製品概要	09-10
イネリーグ® フロアブルの製品概要	11-12
イネリーグ® ジャンボ®の製品概要	13-14
上手な使い方 移植水稻	15-16
上手な使い方 直播水稻	17-18
イネリーグ®剤の散布適期一覧 移植水稻	裏表紙

イネリーグ®剤の特長

3成分で高い除草効果

広い散布適期幅

1キロ粒剤(田植同時~ノビエ3葉期)
フロアブル・ジャンボ®(移植直後~ノビエ3葉期)

ノビエへの高い除草効果

(殺草効果・残効性)

SU抵抗性雑草*に対する高い除草効果

(ホタルイ・コナギ・アゼナ等)
*スルホニルウレア抵抗性雑草

特殊雑草に対する高い除草効果

(クサネム・イボクサ)

水稻に対する高い安全性

(田植同時散布可能:1キロ粒剤)

直播水稻に使用可能

1キロ粒剤(イネ1葉期~ノビエ2.5葉期)
フロアブル・ジャンボ®(イネ1葉期~ノビエ3葉期)

無人航空機による処理可能

(1キロ粒剤・フロアブル)

有効成分の物理化学性と安全性

一般名	フェントラザミド	テフリルトリオン	クロメプロップ	
除草剤分類	15(超長鎖脂肪酸合成(VLCFAs)阻害)	27(白化:4-HPPD阻害)	4(インドール酢酸様活性)	
化学名	4-(2-クロロフェニル)-N-シクロヘキシル-N-エチル-4,5-ジヒドロ-5-オキソ-1H-テトラゾール-1-カルボキサミド	2-(2-クロロ-4-メチル-3-[(テトラヒドロフラン-2-イルメトキシ)メチル]ベンゾイル)シクロヘキサン-1,3-ジオン	(RS)-2-(2,4-ジクロロ-m-トリロキシ)プロピオンアニリド	
構造式				
物理化学的性状	融点	78.9~79.3℃	147.8~148.0℃	
	水溶解度	2.3mg/L(20℃)	64.2g/L(pH7, 20℃)	
	Log Pow	3.60(20℃)	1.9(pH2, 25±1℃)	
原体毒性	人畜毒性	経口ラット♂♀ LD ₅₀ > 5,000mg/kg 経皮ラット♂♀ LD ₅₀ > 5,000mg/kg	経口ラット♀ LD ₅₀ > 2,500mg/kg 経皮ラット♂♀ LD ₅₀ > 2,000mg/kg	経口ラット♂ LD ₅₀ > 5,000mg/kg ♀ LD ₅₀ > 3,520mg/kg 経皮ラット♂♀ LD ₅₀ > 5,000mg/kg
	水産動植物に対する毒性	コイ LC ₅₀ 2.4mg/L(96hr) オオミジンコ EC ₅₀ > 5.9mg/L(48hr) 緑藻 ErC ₅₀ 6.04μg/L(0-72hr)	コイ LC ₅₀ > 99.3mg/L(96hr) オオミジンコ EC ₅₀ > 99.6mg/L(48hr) 緑藻 ErC ₅₀ 5.3mg/L(0-72hr)	コイ LC ₅₀ > 369μg/L(96hr) オオミジンコ EC ₅₀ > 496μg/L(48hr) 緑藻 ErC ₅₀ > 246μg/L(0-72hr)

イネリーグ® 剤の殺草スペクトラム

処理時期	一年生雑草								多年生雑草								
	ノビエ	カヤツリグサ	*コナギ	*アゼナ	*キカシグサ	*ミソハコベ	イボクサ	ヒメミンソハギ	*マツバイ	*ホタルイ	ミスガヤツリ	*ウリカワ	ヒルムシロ	セリ	クログワイ	*オモダカ	シスイ
雑草発生前	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
ノビエ2葉期	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
ノビエ3葉期	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△

注:*付の草種はスルホニルウレア系除草剤抵抗性雑草を含む。 ◎:効果極大、○:有効、△:やや不十分、×:不十分

●ノビエ、一年生カヤツリグサ科雑草、一年生広葉雑草およびクログワイ・オモダカ等の難防除雑草に対して高い除草効果を示します。



有効成分の特性 / フェントラザミド 除草剤分類: 15 (超長鎖脂肪酸合成 (VLCFAs) 阻害)

フェントラザミドの作用性 (作用機作)

フェントラザミドは、雑草の生長点に作用し細胞分裂及び細胞伸長を阻害することによって雑草の生育を停止させ、枯死に至らしめる。

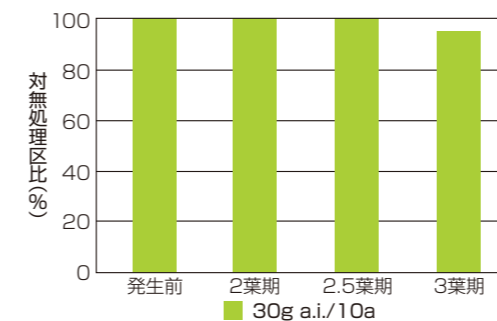
フェントラザミドの殺草スペクトラム / 30g a.i./10a

処理時期	一年生雑草					多年生雑草			
	ノビエ	カヤツリグサ	*コナギ	*アゼナ	*ミソハコベ	*マツバイ	*ホタルイ	ミスガヤツリ	*ウリカワ
雑草発生前	◎	◎	◎	○	◎	◎	△	△	×
ノビエ2葉期	◎	◎	◎	○	◎	◎	×	×	×
ノビエ3葉期	◎	◎	○	△	○	◎	×	×	×

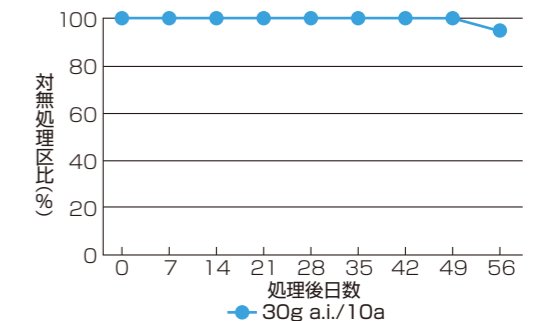
注:*付の草種はスルホニルウレア系除草剤抵抗性雑草を含む。 ◎:効果極大、○:有効、△:やや不十分、×:不十分

●フェントラザミドは、ノビエ、一年生カヤツリグサ雑草およびSU抵抗性を含むコナギ、アゼナ類に対して高い除草効果を示す。

フェントラザミドのノビエに対する除草効果



社内試験 (茨城県)
 ・試験規模: 1,000cm² プラスチックポット2連制
 ・処理方法: 湛水散布 ・供試土壌: 沖積粘土
 ・減水深: 0.5cm/日 (試験期間中)
 ・調査方法: 観察調査 (100: 完全枯死 ~ 0: 無作用)



社内試験 (茨城県)
 ・試験規模: 1,000cm² プラスチックポット2連制
 ・処理方法: 湛水散布 ・供試土壌: 沖積粘土
 ・減水深: 0.5cm/日 (試験期間中)
 ・試験方法: 薬剤処理後7日毎にノビエ種子を土壌表面に播種した。
 ・調査方法: 観察調査 (100: 完全枯死 ~ 0: 無作用)

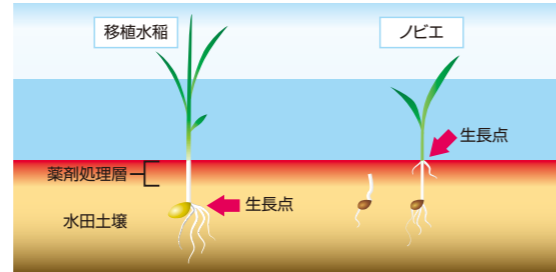
●フェントラザミドは3葉期までのノビエに対して高い除草効果を示すとともに、ノビエに対して7~8週間程度の長期の残効性を示した。

フェントラザミドのノビエの枯殺過程

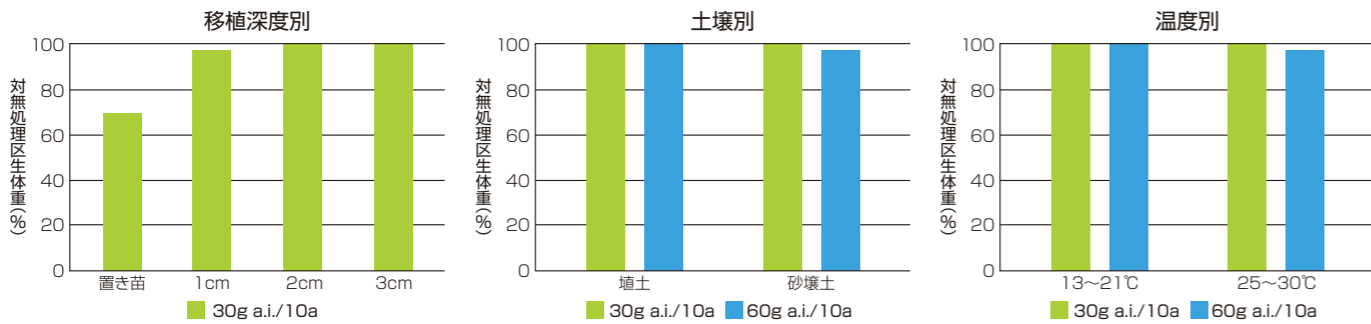


フェントラザミドの選択性メカニズム

- フェントラザミドの選択性は、位置選択性です。
- ノビエの生長点は薬剤処理層に存在するので枯死に至りますが、移植水稻の生長点は薬剤処理層の下に位置し薬剤の影響を受けないため、高い安全性を示します。



フェントラザミドの水稻に対する安全性 (処理時葉齢2~3葉期)



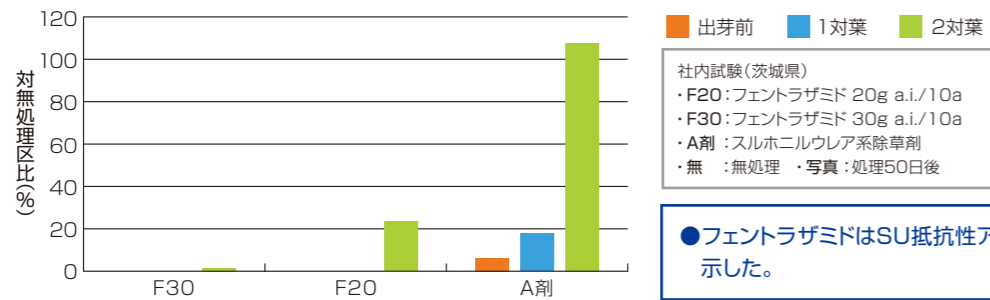
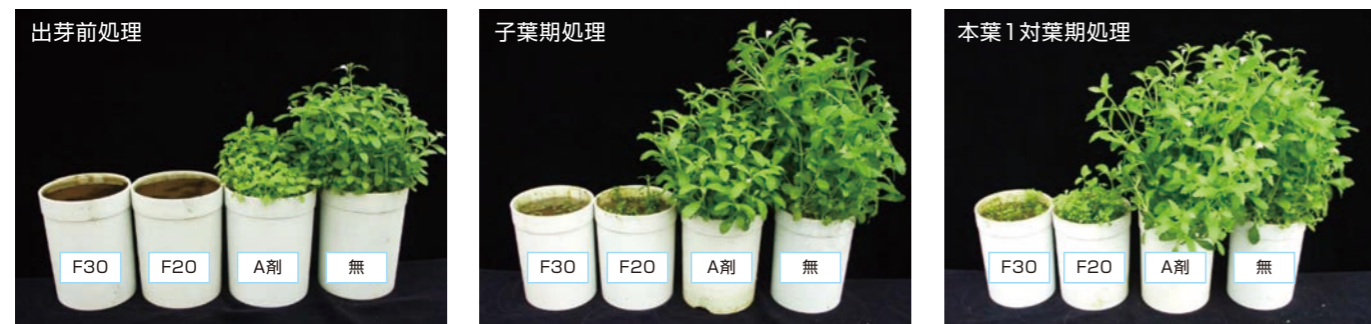
社内試験(茨城県)
 ・供試土壌: 埴土・処理日: 移植当日
 ・減水深: 0.5cm/日(試験期間中)
 ・調査方法: 処理後28日

社内試験(茨城県)
 ・移植深度: 2m・供試土壌: 埴土、砂壤土
 ・処理日: 移植後5日・減水深: 0.5cm/日(試験期間中)
 ・調査方法: 処理後28日

社内試験(茨城県)
 ・移植深度: 2m・供試土壌: 埴土
 ・処理日: 移植後5日・減水深: 0.5cm/日(試験期間中)
 ・調査方法: 処理後28日

- 置き苗では生育抑制を示したが、1cm以上の移植深度では水稻に対して高い安全性を示した。
- 砂壤土・倍量薬量の条件においても水稻に対して高い安全性を示した。
- 温度条件にかかわらず倍量薬量においても水稻に対して高い安全性を示した。

フェントラザミドのSU抵抗性アメリカアゼナに対する除草効果



- フェントラザミドはSU抵抗性アメリカアゼナに対して高い除草効果を示した。

有効成分の特性 / テフリルトリオン 除草剤分類: 27(白化: 4-HPPD阻害)

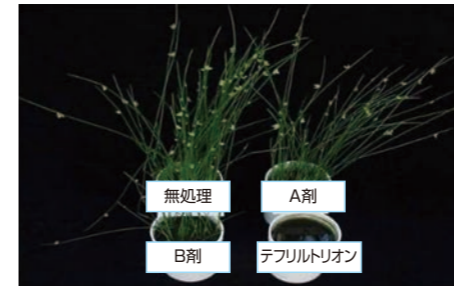
テフリルトリオンの作用特性

テフリルトリオンは雑草の根部、幼芽部、茎葉基部より吸収されます。雑草体内では光合成電子伝達系経路のプラストキノンの生合成に関与する4-HPPDに作用して、雑草の生育を抑制し、白化症状を発現して枯死させます。



SU抵抗性雑草に対する除草効果 / 30g a.i./10a

SU抵抗性イヌホタルイに対する効果



SU抵抗性アゼナに対する効果



SU抵抗性コナギに対する効果



SU抵抗性ミズアオイに対する効果



社内試験(2002年、茨城県)
 ・試験規模: 1/5000a ワグネルポット
 ・供試土壌: 沖積埴土
 ・処理時期: ホタルイ 2.0葉期
 アゼナ 2対
 コナギ 1.5葉期
 ミズアオイ 1.5葉期

- テフリルトリオンは、スルホニルウレア系除草剤抵抗性雑草に対しても高い除草効果を示します。

テフリルトリオンのミズガヤツリに対する殺草スピード



社内試験(2007年、茨城県)
 ・試験規模: 1/5000a ワグネルポット・供試土壌: 沖積軽埴土・処理時葉齢: ミズガヤツリ 1-1.5葉期

- テフリルトリオンの殺草スピードは速く、処理後3日程度で白化症状を示します。
- 温度が高いほど白化症状の発現が早くなる傾向があります。

テフリルトリオンの特殊雑草に対する除草効果

■ イボクサに対する除草効果



社内試験(2002年、茨城県)
・試験規模: 170cm² プラスチックポット 3連制 ・供試土壌: 沖積埴土 ・処理時期: 発生盛期

■ クサネムに対する除草効果



社内試験(2005年、茨城県)
・試験規模: 1/5000a ワグネルポット2連制 ・供試土壌: 沖積埴土 ・処理時期: 2葉期

●テフリルトリオンはイボクサ、クサネムに対して高い除草効果を示します。

有効成分の特性：クロメプロップ 除草剤分類:4(インドール酢酸様活性)

クロメプロップの殺草スペクトラム / 45g a.i./10a

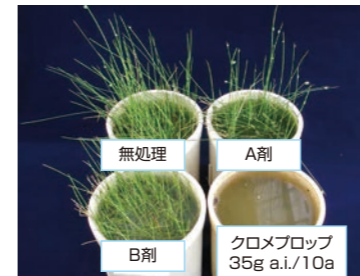
処理時期	一年生雑草					多年生雑草			
	ノビエ	カヤツリグサ	*コナギ	*アゼナ	*ミノハコベ	*マツバイ	*ホタルイ	ミスガヤツリ	*ウリカワ
雑草発生前	×	×	◎	◎	◎	×	◎	△	○
ノビエ2葉期	×	×	◎	◎	◎	×	◎	×	△
ノビエ2.5葉期	×	×	◎	◎	◎	×	◎	×	×

注:*付の草種はスルホニルウレア系除草剤抵抗性雑草を含む。
◎:効果極大、○:有効、△:やや不十分、×:不十分

●クロメプロップは、SU抵抗性を含むホタルイ、コナギ、一年生広葉雑草に対して高い除草効果を示します。

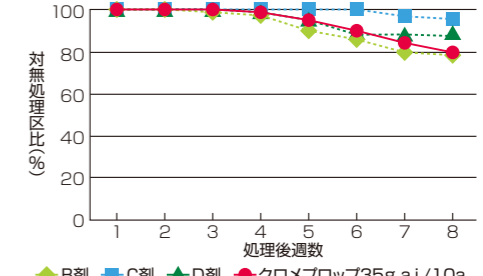
クロメプロップのSU抵抗性イヌホタルイに対する除草効果 / 35g* a.i./10a

■ イヌホタルイに対する除草効果



社内試験(2001年、茨城県)
・供試土壌: 沖積軽埴土
・試験方法: 別のポットには種したノビエの2.5葉期に所定量を湛水処理した。
・イヌホタルイ葉齢: 1~2葉期

■ イヌホタルイに対する残効性

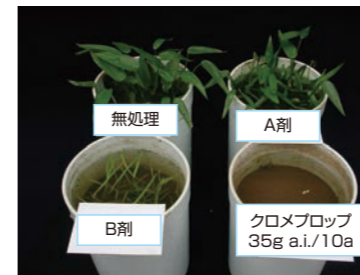


社内試験(2000年、茨城県)
・供試土壌: 沖積軽埴土
・試験規模: 薬剤処理後7日毎に催芽種子を土壌表面に播種した。
・調査方法: 観察調査(100:完全枯死~0:無作用)

●クロメプロップは、SU抵抗性イヌホタルイに対して高い除草効果と長期の残効性を示した。

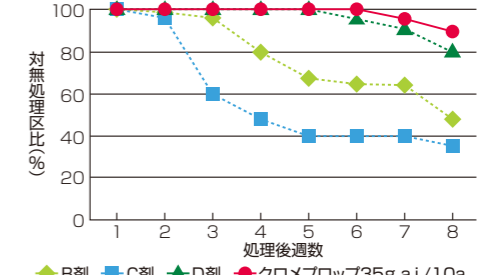
クロメプロップのSU抵抗性コナギに対する除草効果 / 35g* a.i./10a

■ コナギに対する除草効果



社内試験(2001年、茨城県)
・供試土壌: 沖積軽埴土
・試験方法: 別のポットには種したノビエの2.5葉期に所定量を湛水処理した。
・コナギ葉齢: 1~2葉期

■ コナギに対する残効性



社内試験(2000年、茨城県)
・供試土壌: 沖積軽埴土
・試験規模: 薬剤処理後7日毎に催芽種子を土壌表面に播種した。
・調査方法: 観察調査(100:完全枯死~0:無作用)

●クロメプロップは、SU抵抗性コナギに対して高い除草効果と長期の残効性を示した。

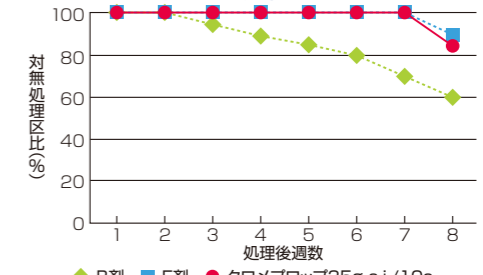
クロメプロップのSU抵抗性アゼナに対する除草効果 / 35g* a.i./10a

■ アゼナに対する除草効果



社内試験(2001年、茨城県)
・供試土壌: 沖積軽埴土
・試験方法: 別のポットには種したノビエの2.5葉期に所定量を湛水処理した。
・アゼナ葉齢: 子葉~本葉1葉期

■ アゼナに対する残効性



社内試験(2000年、茨城県)
・供試土壌: 沖積軽埴土
・試験規模: 薬剤処理後7日毎に催芽種子を土壌表面に播種した。
・調査方法: 観察調査(100:完全枯死~0:無作用)

●クロメプロップは、SU抵抗性アゼナに対して高い除草効果と長期の残効性を示した。

*本試験はイネリーグ®剤に含有されているクロメプロップ含有量とは異なる35g a.i./10aでの試験結果です。



水稲用初・中期一発処理除草剤

イネリーグ® 1キロ粒剤

製品情報の詳細はこちらから



有効成分の含有量および安全性

農林水産省登録: 第24007号
 試験名: BCH-154-1kg粒剤
 種類名: クロメプロップ・テフリルトリオン・フェントラザミド粒剤
 含有量: クロメプロップ……4.5%
 テフリルトリオン……3.0%
 フェントラザミド……3.0%

製剤の安全性

●人畜: 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
 急性経口毒性(ラット) LD₅₀(♀) > 2,000mg/kg体重
 皮膚刺激性(ウサギ) 刺激性なし
 皮膚感受性(モルモット) 感受性なし

●水産動植物: コイ LC₅₀(96hr) 668mg/L
 オオミジンコ EC₅₀(48hr) > 1,000mg/L
 緑藻 ErC₅₀(0-72hr) 0.304mg/L

適用雑草と使用方法

2022年6月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ ウリカワ、クログワイ、オモダカ ヒルムシロ、セリ、シズイ	移植時	1kg	本剤 1回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで		クロメプロップ 2回 テフリルトリオン 2回 フェントラザミド 1回	
直播水稲	一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			湛水散布 または 無人航空機による散布

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項

■使用上の注意事項

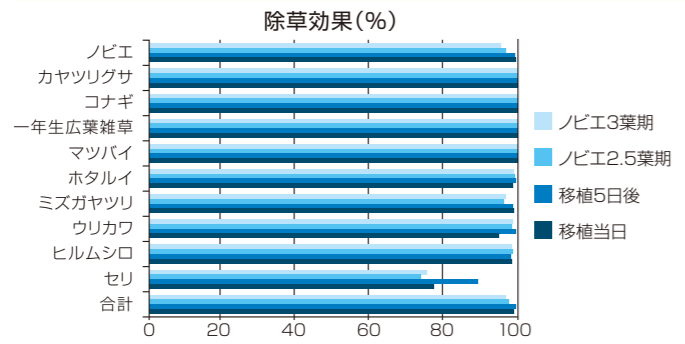
- 使用量に合わせ秤量し、使いきって下さい。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、移植水稲についてはノビエの3葉期までに、直播水稲についてはノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布して下さい。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにして下さい。ホタルイは3葉期まで、ミスガヤツリ、ウリカワは2葉期まで、クログワイ、オモダカは発生始まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前まで、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期です。また、コナギは3葉期まで散布適期です。クログワイ、オモダカ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまで十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用して下さい。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布して下さい。また、極端な浅水や深水での使用はさけて下さい。
- 無人航空機で散布する場合は、次の注意を守って下さい。
 - ① 散布は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
 - ② 専用の粒剤散布装置によって湛水散布して下さい。
 - ③ 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整して下さい。
 - ④ 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布して下さい。
 - ⑤ 水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意して下さい。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。また、入水は静かに行ってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業は丁寧に行って下さい。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行って下さい。
- 以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけて下さい。
 - ① 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)

- ② 軟弱苗を移植した水田
- ③ 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないで下さい。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさけて下さい。
- 散布田の田面水を他の作物に湛水しないして下さい。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意して下さい。
- 畜に対して影響があるので、周辺の農薬にはかからないようにして下さい。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用して下さい。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

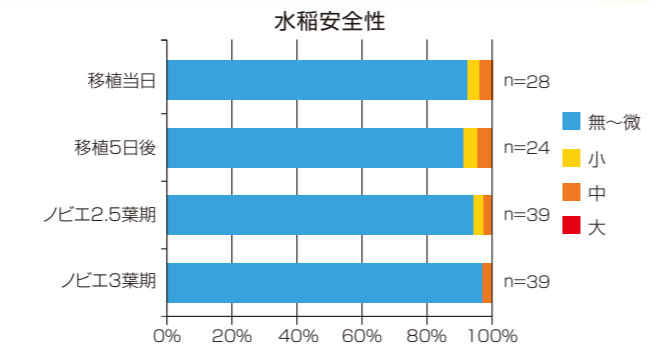
■安全使用上の注意事項

- 誤食などのないよう注意して下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。
- 水産動植物(藻類)に影響をおよぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。
- 無人航空機による散布で使用の場合は、飛散しないよう特に注意して下さい。
- 散布後は水管理に注意して下さい。
- 散布器具の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

委託試験結果概要/イネリーグ® 1キロ粒剤(移植水稲) 2015-2017年

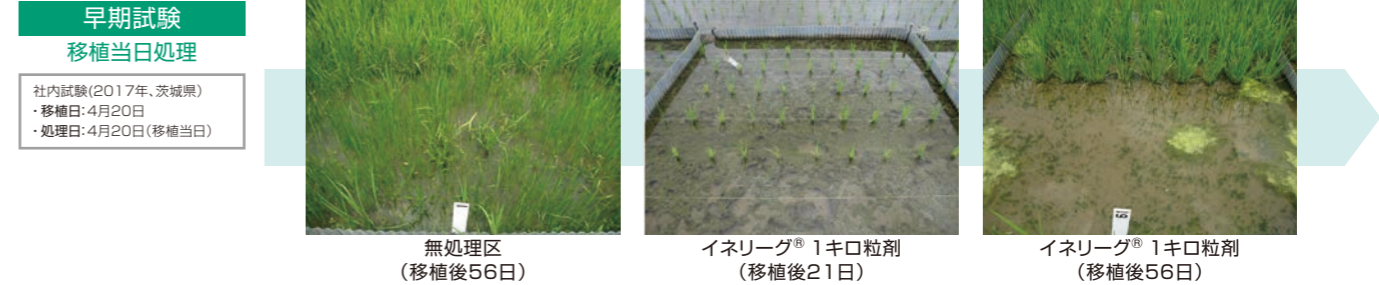


●移植当日～ノビエ3葉期の処理において、セリを除き供試雑草に対して極大の除草効果を示した。

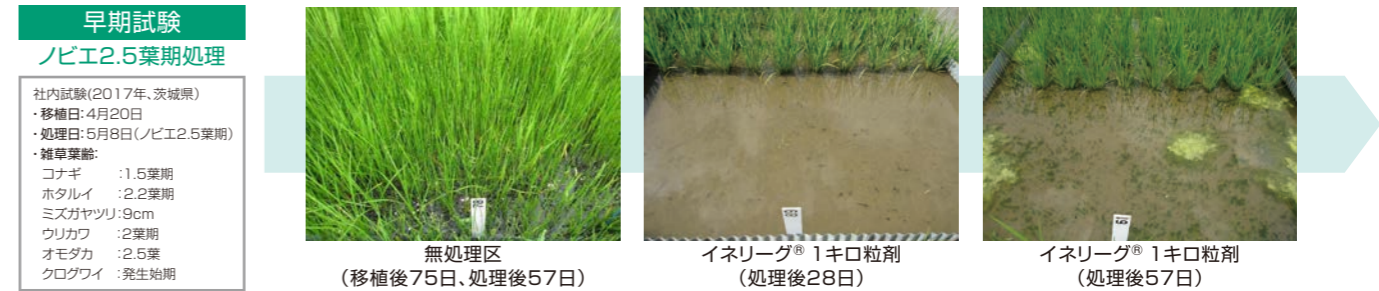


●水稲安全性は高く、3件の小程度の薬害、4件の中程度の薬害が認められたが、原因は砂質土壌・黒ボク土などの土壌要因によると考えられた。

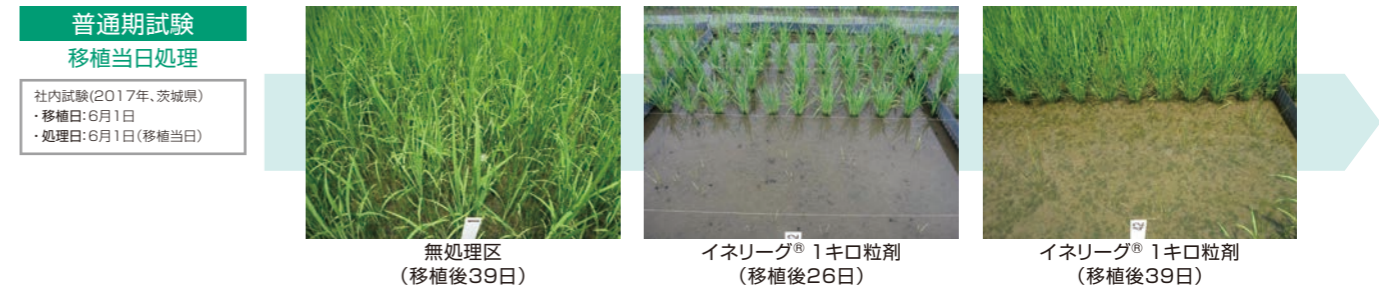
イネリーグ® 1キロ粒剤の除草効果(移植水稲)



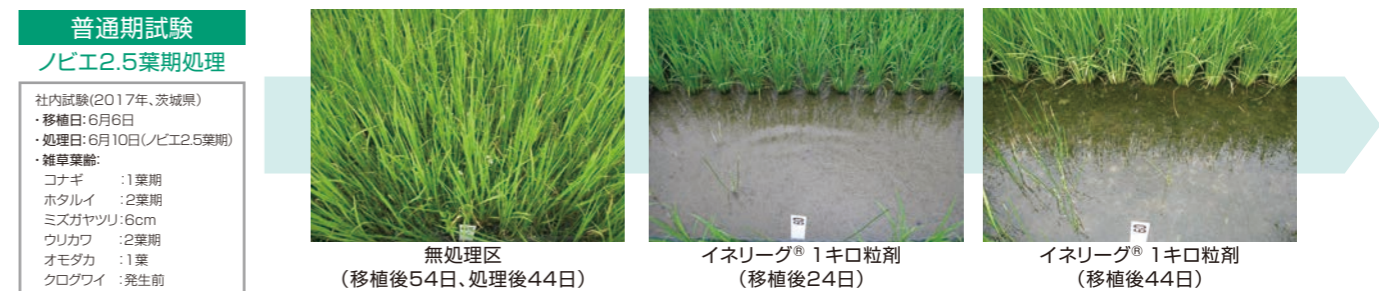
●移植当日の一発処理において供試雑草に対して高い除草効果を示した。
●問題となる薬害は、認められなかった。



●ノビエ2.5葉期の一発処理において供試雑草に対して高い除草効果を示した。
●問題となる薬害は、認められなかった。



●移植当日の一発処理において供試雑草に対して高い除草効果を示した。
●問題となる薬害は、認められなかった。



●ノビエ2.5葉期の一発処理において供試雑草に対して高い除草効果を示した。
●クログワイの発生は確認されたが、白化症状を示し生育を抑制した。
●問題となる薬害は、認められなかった。



水稲用初・中期一発処理除草剤

イネリーグ® フロアブル

製品情報の詳細はこちら



イネリーグ®

有効成分の含有量および安全性

農林水産省登録: 第24008号
 試験名: BCH-155フロアブル
 種類名: クロメプロップ・テフリルトリオン・フェントラザミド水和剤
 含有量: クロメプロップ……8.5%
 テフリルトリオン……5.7%
 フェントラザミド……5.7%

製剤の安全性
 ●人畜: 普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
 急性経口毒性(ラット) LD₅₀(♀) > 2,000mg/kg体重
 皮膚刺激性(ウサギ) 刺激性なし
 皮膚感受性(モルモット) 感受性なし
 ●水産動植物: コイ LC₅₀(96hr) > 1,000mg/L
 オオミジンコ EC₅₀(48hr) > 1,000mg/L
 緑藻 ErC₅₀(0-72hr) 0.191mg/L

適用雑草と使用方法

2022年6月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ ウリカワ、クログワイ、オモダカ ヒルムシロ、セリ、シズイ	移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	500mL	本剤 1回 クロメプロップ 2回	原液湛水散布、 水口施用 または 無人航空機による滴下
直播水稲	一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで		テフリルトリオン 2回 フェントラザミド 1回	原液湛水散布 または 無人航空機による滴下

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項

■使用上の注意事項

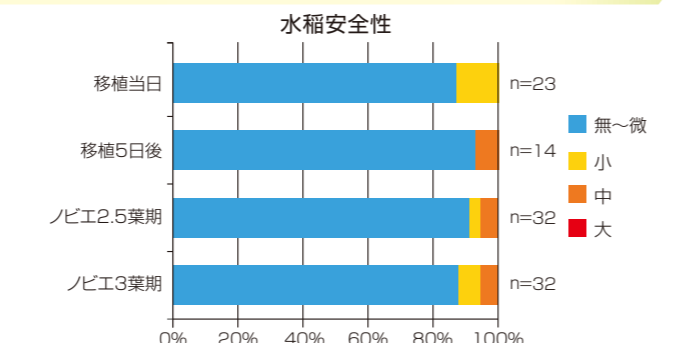
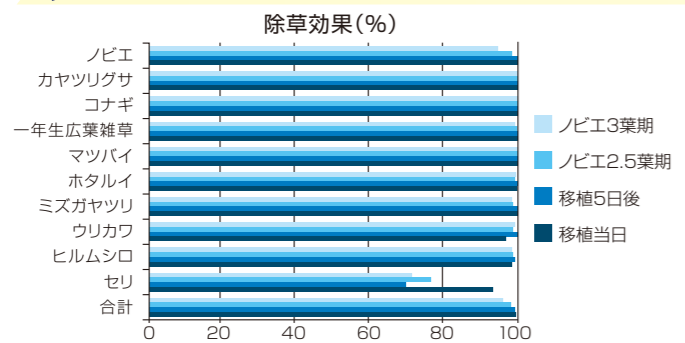
- 使用量に合わせ秤量し、使いきって下さい。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振って下さい。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように散布して下さい。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが異なるので、必ず適期に散布するようにして下さい。ホタルイは3葉期まで、ミスガヤツリは4葉期まで、ウリカワは3葉期まで、クログワイ、オモダカは発生始まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始まで、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期です。また、コナギは3葉期までが散布適期です。クログワイ、オモダカ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものでは十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用して下さい。
- 原液湛水散布の場合は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布して下さい。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないよう注意して下さい。
- 無人航空機で滴下する場合は、次の注意を守って下さい。
 - ① 滴下は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
 - ② 滴下に当たっては散布装置のノズルを取り外して下さい。
 - ③ 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他の装置の十分な点検を行って下さい。
 - ④ 隣接するほ場に水稲以外の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の滴下は行わないで下さい。
 - ⑤ 水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意して下さい。
 - ⑥ 薬液滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理して下さい。
 - ⑦ 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬液散布には使用しないで行って下さい。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。また、入水は静かに行ってください。

- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業は丁寧に行ってください。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行ってください。
- 以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用を控えて下さい。
 - ① 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
 - ② 軟弱苗を移植した水田
 - ③ 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないで下さい。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用を控えて下さい。
- 散布田の田面水を他の作物に湛水しないで行ってください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の養鶏にはかからないようにして下さい。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用するには十分に注意して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考に使用して下さい。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意して下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。
- 水産動植物(藻類)に影響をおよぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。
- 無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意して下さい。
- 散布後は水管理に注意して下さい。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器等は水産動植物に影響を及ぼさないよう適切に処理して下さい。
- 直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管して下さい。

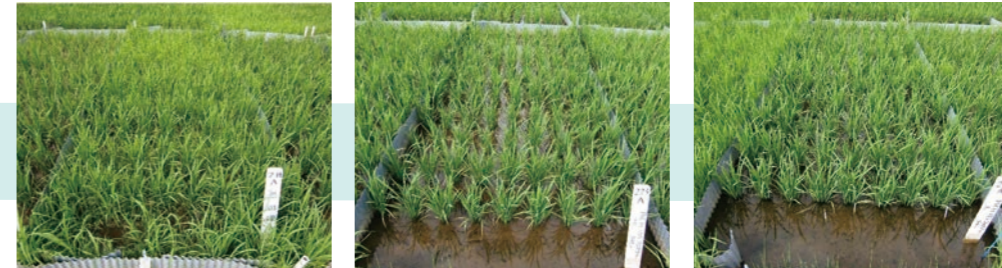
委託試験結果概要/イネリーグ® フロアブル(移植水稲) 2015-2017年



●移植当日～ノビエ3葉期の処理において、セリを除き供試雑草に対して極大の除草効果を示した。

●水稲安全性は高く、6件の小程度の薬害、5件の中程度の薬害が認められたが、原因は砂質土壌・黒ボク土などの土壌要因によると考えられた。

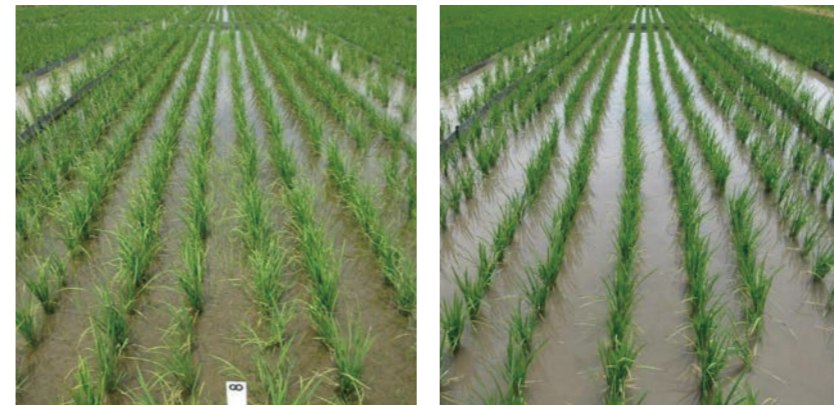
イネリーグ® フロアブルの除草効果(移植水稲)



日植調福島試験地(2015年)
 ・移植日: 5月12日
 ・処理日: 移植直後 : 5月12日
 ノビエ3葉期: 5月29日
 ・撮影日: 6月22日

- 移植当日処理およびノビエ3葉期処理において供試雑草全般に対して高い除草効果を示した。
- 問題となる薬害は、認められなかった。

イネリーグ® フロアブルの拡散性(移植水稲)

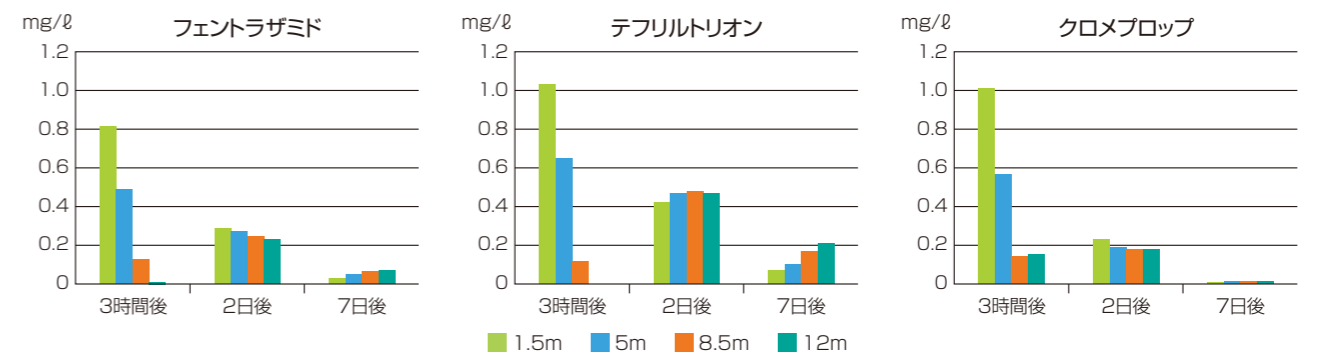


社内試験(2017年)
 ・試験場所: 茨城県結城市
 ・試験規模: 39m²(3m x 13m)、2反復
 ・移植日 : 5月25日
 ・処理日 : 6月3日
 ・処理方法: プロットの短辺から1m程度範囲に滴下処理した。
 ・撮影日 : 6月19日(処理16日後)

処理時条件
 ・風向: ←
 ・風速: 1～3m/秒
 ・水深: 5cm

- ノビエ、コナギ、一年生広葉、イヌホタルイに対して、試験区全面で非常に高い除草効果を示した。
- 処理地点を含め、問題となる薬害は認められなかった。

イネリーグ® フロアブルの有効成分の水中濃度推移(移植水稲)



・分析方法: プロットの短辺から1m程度の範囲に滴下処理した後、田面水を採取し液体クロマトグラフィーにて水中濃度を測定した。

- 各有効成分ともに、処理3時間後には処理地点近辺で高い水中濃度が確認されたが、処理2日後にはプロット全体に拡散し、その後、均一に土壌処理層を形成したと考えられる。



水稲用初・中期一発処理除草剤

イネリーグ® ジャンボ®

製品情報の詳細はこちらから



イネリーグ®

有効成分の含有量および安全性

農林水産省登録: 第24009号

試験名: BCH-156ジャンボ

種類名: クロメプロップ・テフリルトリオン・フェントラザミド粒剤

含有量: クロメプロップ……………1.2%
テフリルトリオン……………7.5%
フェントラザミド……………7.5%

製剤の安全性

- 人畜: 普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
急性経口毒性(ラット) LD₅₀(♀) > 2,000mg/kg体重
皮膚刺激性(ウサギ) 刺激性なし
皮膚感作性(モルモット) 感作性なし
- 水産動物: コイ LC₅₀(96hr) 137mg/L
オオミジンコ EC₅₀(48hr) 366mg/L
緑藻 ErC₅₀(0-72hr) 0.146mg/L

適用雑草と使用方法

2022年6月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ ウリカワ、クログワイ、オモダカ ヒルムシロ、セリ、シズイ	移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装(パック) 10個(400g)	本剤 1回 クロメプロップ 2回 テフリルトリオン 2回 フェントラザミド 1回	水田に 小包装(パック)のまま 投げ入れる。
直播水稲	一年生雑草 および ホタルイ、ミスガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項

■使用上の注意事項

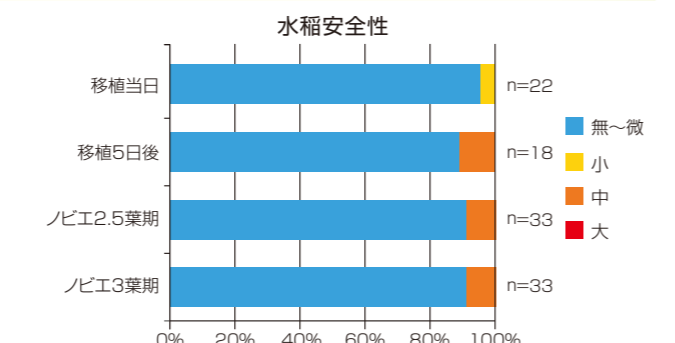
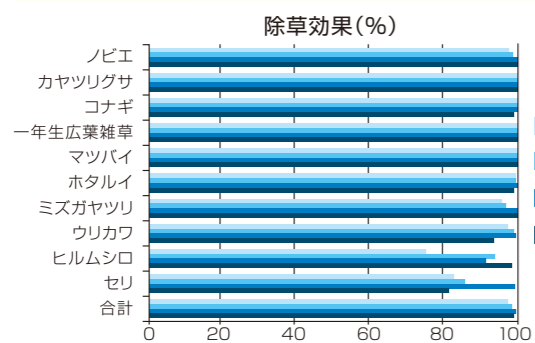
- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきって下さい。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように散布して下さい。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにして下さい。ホタルイは3葉期まで、ミスガヤツリは4葉期まで、ウリカワは2葉期まで、クログワイ、オモダカは発生始まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始まで、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期です。また、コナギは3葉期までが散布適期です。クログワイ、オモダカ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用して下さい。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深5～6cm)で、散布して下さい。極端な浅水や深水での使用は避けて下さい。本剤は小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れて下さい。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。また、入水は静かに行ってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業は丁寧に行って下さい。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行って下さい。
- 以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用を避けて下さい。
 - ① 砂質土壌の水田および漏水水田(減水深2cm/日以上)
 - ② 軟弱苗を移植した水田
 - ③ 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 葉や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり、効果の劣る可能性があるため使用を避けて下さい。

- 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないで下さい。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用を避けて下さい。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することのないように注意して下さい。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないで下さい。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用するには十分に注意して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用して下さい。特に初めて使用する場合は、害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■安全使用上の注意事項

- 濡れた手で触らないで下さい。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意して下さい。
 - ① 誤食などのないよう注意して下さい。
 - ② 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の指導を受けて下さい。
- 水産動物(藻類)に影響をおよぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用して下さい。
- 散布後は水管理に注意して下さい。
- 空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。水溶性フィルムは吸湿性があるので湿度には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管して下さい。また、強く加圧されると包装材フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにして下さい。

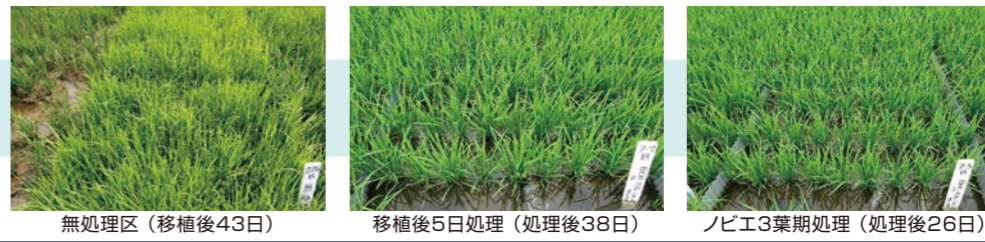
委託試験結果概要/イネリーグ® ジャンボ® (移植水稲) 2015-2017年



●移植当日～ノビエ3葉期の処理において、セリを除き供試雑草に対して極大の除草効果を示した。

●水稲安全性は高く、1件の小程度の薬害、8件の中程度の薬害が認められたが、原因は砂質土壌・黒ボク土などの土壌要因によると考えられた。

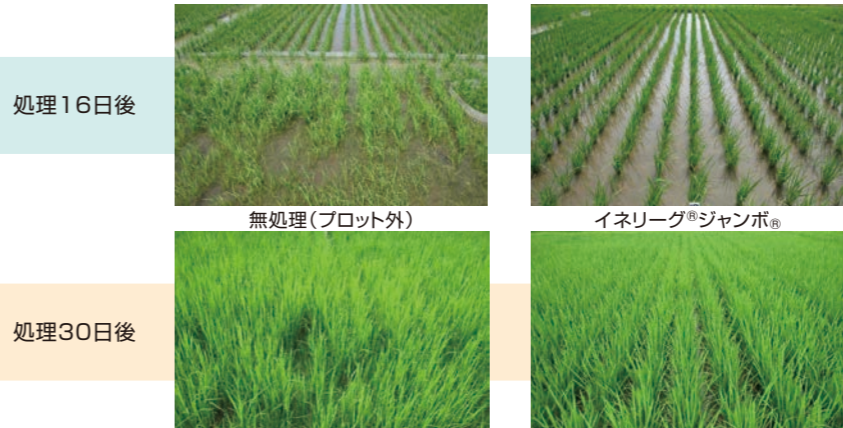
イネリーグ® ジャンボ®の除草効果 (移植水稲)



日植調福島試験地(2016年)
 ・移植日: 5月10日
 ・処理日: 移植後5日 : 5月12日
 ノビエ3葉期 : 5月28日
 ・撮影日: 6月23日

- 移植後5日処理およびノビエ3葉期処理において供試雑草全般に対して高い除草効果を示した。
- 問題となる薬害は、認められなかった。

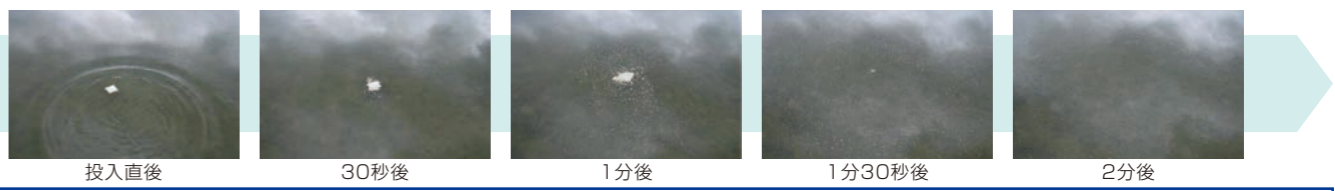
イネリーグ® ジャンボ®の除草効果と拡散性 (移植水稲)



社内試験(2017年)
 ・試験場所: 茨城県結城市
 ・試験規模: 96m²(12m×8m)、2反復
 ・移植日 : 5月10日
 ・処理日 : 6月3日(ノビエ3葉期)
 ・処理時水深: 5～8cm
 ・撮影日 : 6月19日(処理16日後)
 7月3日(処理30日後)

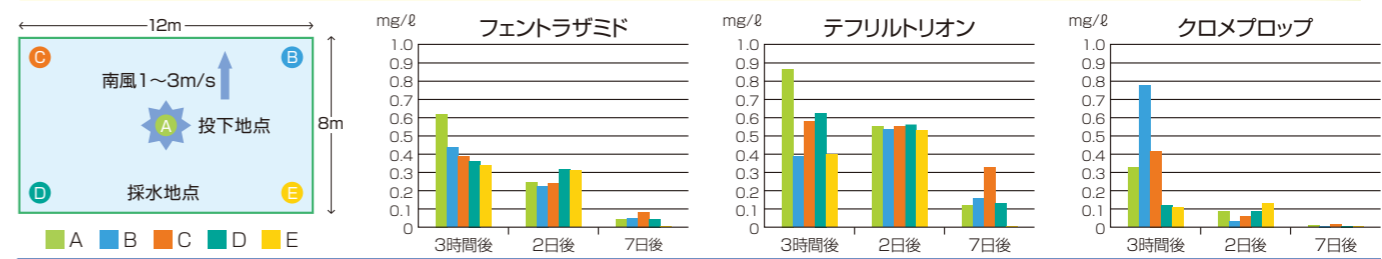
- ジャンボ®剤は、速やかに拡散し、ノビエ、コナギ、一年生広葉、イヌホタルイに対して、高い除草効果を示した。
- 投下地点を含め、問題となる薬害は認められなかった。

イネリーグ® ジャンボ®の拡散状況 (移植水稲)



- 投入して10秒ほどでパックが破れ、粒剤が水面に拡散し始める。 ●1分から1分30秒程度でパックからの流出が終了する。
- 粒は、水面を拡散しながら徐々に崩壊する。

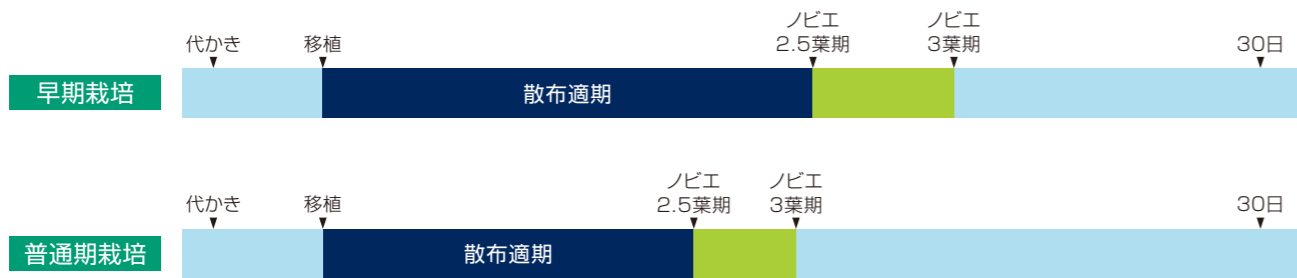
イネリーグ® ジャンボ®の有効成分の水中濃度推移 (移植水稲)



- 各有効成分は、散布3時間後には投下地点または風下地点で高い水中濃度が認められた。
- 処理2日後には、ほぼ均一な水中濃度となり優れた拡散性が確認された。
- その後、均一に土壌処理層を形成したと考えられる。

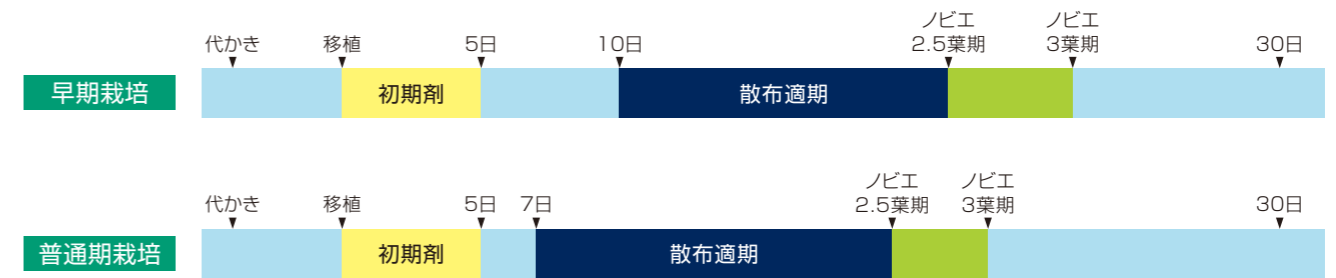
イネリーグ®剤の上手な使い方 移植水稻

イネリーグ® 1キロ粒剤の除草効果 (一発処理)



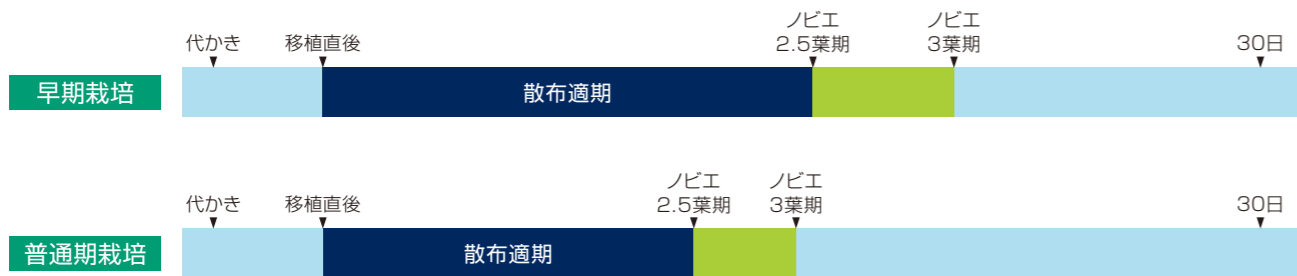
- 一発処理の場合は、「移植時からノビエ3葉期まで。ただし、移植後30日まで」に散布して下さい。
- 圃場内には葉齢の進んだノビエが発生している場合がありますので、早めの処理がお勧めです。
- 普通期栽培では雑草の生育が早いので、雑草発生程度を確認し適正な除草剤散布に努めて下さい。

イネリーグ® 1キロ粒剤の除草効果 (体系処理)



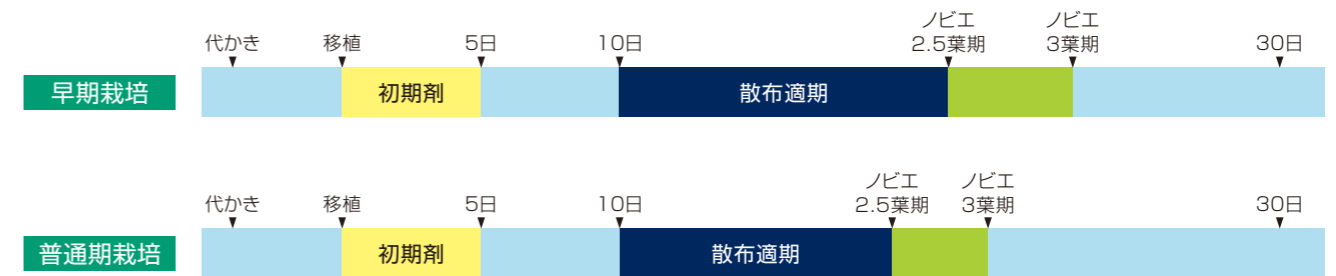
- 体系処理の場合は、「初期剤散布後ノビエ3葉期まで。ただし、移植後30日まで」に散布して下さい。
- 圃場内には葉齢の進んだノビエが発生している場合がありますので、早めの処理がお勧めです。
- 普通期栽培では雑草の生育が早いので、雑草発生程度を確認し適正な除草剤散布に努めて下さい。

イネリーグ® フロアブルの除草効果 (一発処理)



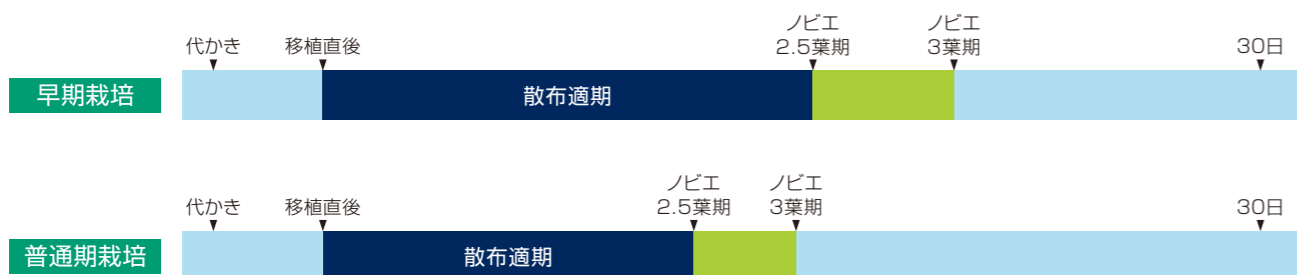
- 一発処理の場合は、「移植直後からノビエ3葉期まで。ただし、移植後30日まで」に散布して下さい。
- 圃場内には葉齢の進んだノビエが発生している場合がありますので、早めの処理がお勧めです。
- 普通期栽培では雑草の生育が早いので、雑草発生程度を確認し適正な除草剤散布に努めて下さい。

イネリーグ® フロアブルの除草効果 (体系処理)



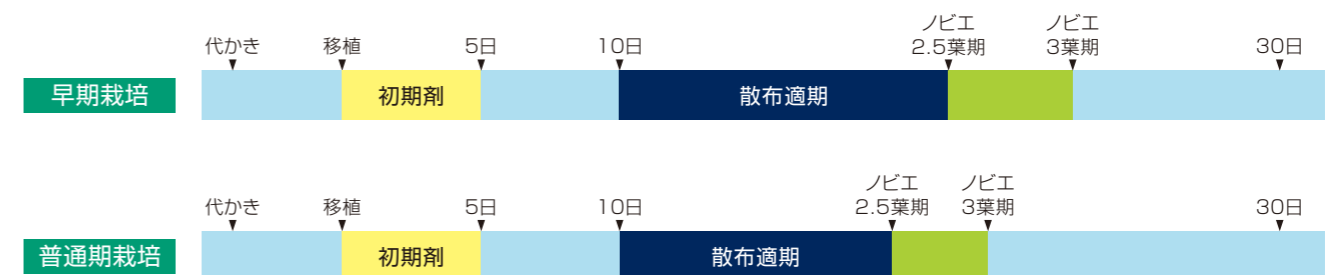
- 体系処理の場合は、「初期剤散布後ノビエ3葉期まで。ただし、移植後30日まで」に散布して下さい。
- 圃場内には葉齢の進んだノビエが発生している場合がありますので、早めの処理がお勧めです。
- 普通期栽培では雑草の生育が早いので、雑草発生程度を確認し適正な除草剤散布に努めて下さい。

イネリーグ® ジャンボ®の除草効果 (一発処理)



- 一発処理の場合は、「移植直後からノビエ3葉期まで。ただし、移植後30日まで」に散布して下さい。
- 圃場内には葉齢の進んだノビエが発生している場合がありますので、早めの処理がお勧めです。
- 普通期栽培では雑草の生育が早いので、雑草発生程度を確認し適正な除草剤散布に努めて下さい。

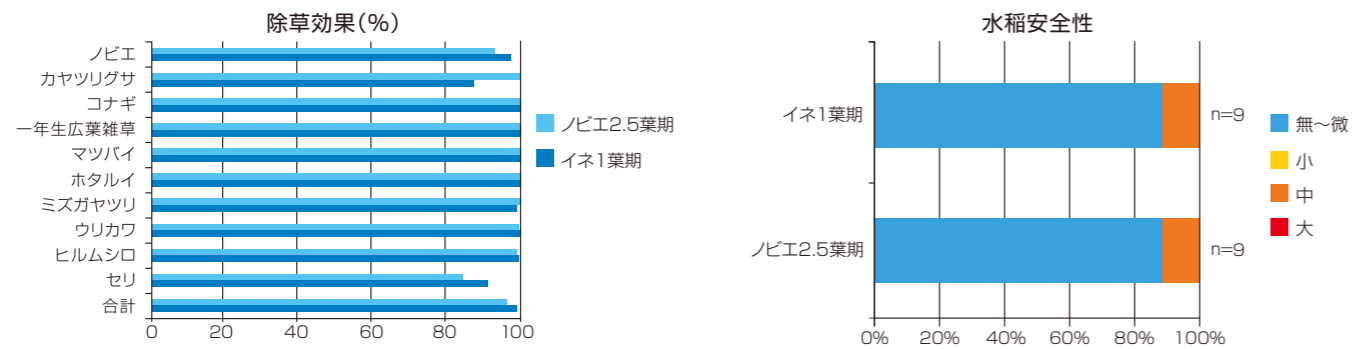
イネリーグ® ジャンボ®の除草効果 (体系処理)



- 体系処理の場合は、「初期剤散布後ノビエ3葉期まで。ただし、移植後30日まで」に散布して下さい。
- 圃場内には葉齢の進んだノビエが発生している場合がありますので、早めの処理がお勧めです。
- 普通期栽培では雑草の生育が早いので、雑草発生程度を確認し適正な除草剤散布に努めて下さい。

イネリーグ®剤の上手な使い方 直播水稻

委託試験結果概要／イネリーグ® 1キロ粒剤 2016-2017年



●イネ1葉期～ノビエ2.5葉期の処理において、セリを除き供試雑草に対して極大の除草効果を示した。

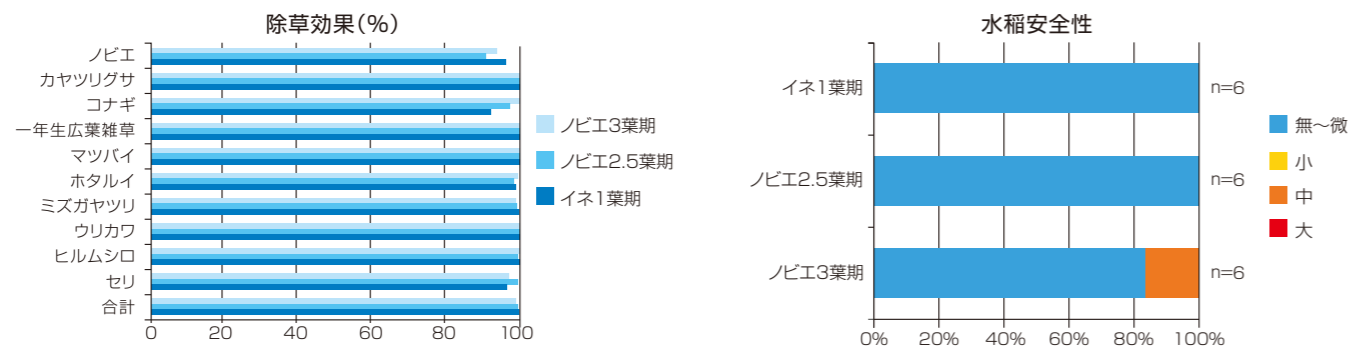
●イネリーグ® 1キロ粒剤の代かき同時点播試験において中程度の葉害が認められたが、全般的には高い水稻安全性が確認された。
●代かき同時土中点播の場合は注意が必要と考えられた。

イネリーグ® 1キロ粒剤の上手な使い方



●本剤の使用時期は、イネ1葉期からノビエ2.5葉期まで。ただし、収穫90日前までです。
●圃場の雑草発生程度を確認し適正な除草剤散布に努めて下さい。
●圃場内には葉齢の進んだノビエが発生している場合がありますので、早めの処理がお勧めです。

委託試験結果概要／イネリーグ®フロアブル 2016-2017年



●イネ1葉期～ノビエ3葉期の処理において、全ての供試雑草に対して極大の除草効果を示した。

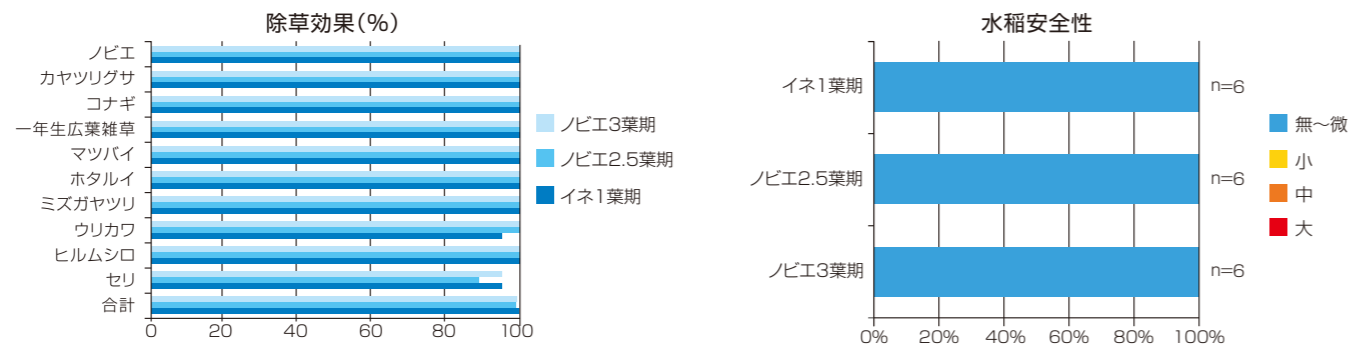
●イネリーグ®フロアブルの水稻安全性は高く、18試験中1件の中程度の葉害事例が認められた。症状は、草丈抑制・莖数抑制であった。

イネリーグ®フロアブルの上手な使い方



●本剤の使用時期は、イネ1葉期からノビエ3葉期まで。ただし、収穫90日前までです。
●圃場の雑草発生程度を確認し適正な除草剤散布に努めて下さい。
●圃場内には葉齢の進んだノビエが発生している場合がありますので、早めの処理がお勧めです。

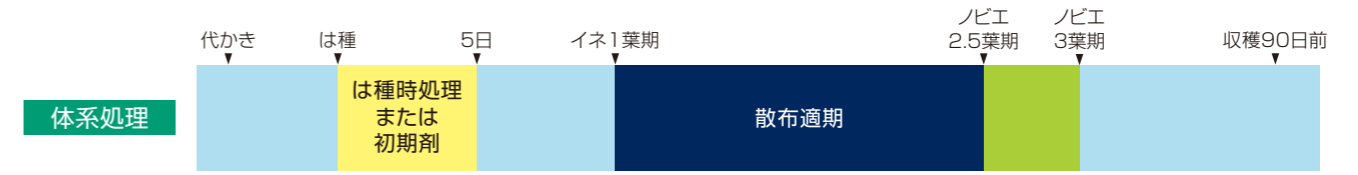
委託試験結果概要／イネリーグ®ジャンボ® 2016-2017年



●イネ1葉期～ノビエ3葉期の処理において、全ての供試雑草に対して極大の除草効果を示した。

●イネリーグ®ジャンボ®の水稻安全性は高く、問題となる葉害は認められなかった。

イネリーグ®ジャンボ®の上手な使い方



●本剤の使用時期は、イネ1葉期からノビエ3葉期まで。ただし、収穫90日前までです。
●圃場の雑草発生程度を確認し適正な除草剤散布に努めて下さい。
●圃場内には葉齢の進んだノビエが発生している場合がありますので、早めの処理がお勧めです。